

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【公開番号】特開2010-222217(P2010-222217A)

【公開日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-040

【出願番号】特願2009-73733(P2009-73733)

【国際特許分類】

C 0 3 B 3/00 (2006.01)

【F I】

C 0 3 B 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月17日(2011.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

このようにすれば、原料投入口の真下、すなわち炉の後壁部の前面と接する部位では、必然的に隣接する原料投入口から供給されたガラス原料の相互間に隙間が生じているが、各ガラス原料の流動領域が後壁部の前面から 2 m 以内（好ましくは 1 m 程度）で合流すれば、各ガラス原料の相互間に隙間が生じなくなる。そして、このように後壁部の前面から 2 m 以内で各ガラス原料の相互間に隙間が生じなくなれば、この後はその状態を維持して下流側（前方）に流れていき、熔融状態に不当なばらつきが生じるおそれなくなる。